



※講師及び開催日は変更することがあります。

研修名	森林管理研修（①森林経営管理法）	G 4①
お薦めポイント	林野庁より森林環境譲与税の活用例、森林経営管理制度の実例などを紹介。ぜひ自身の市町村での活用方法の参考としてください。	
背景と目的	平成31年度から、森林経営管理法が施行され、森林経営管理制度の下で、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の取組を、それぞれの市町村が地域の実情に応じて実施できることとなっています。本研修では、森林経営管理制度の目的・内容、意向調査から経営管理実施権配分計画策定までの流れ、制度の活用事例などを学びます。	
到達目標	森林経営管理制度の目的・内容、意向調査から経営管理実施権配分計画策定までの流れ等を把握する。	
受講要件	市町村職員等	
定員	20名（最少催行人数5名）	
開催場所	岡崎市内（西三河総合庁舎）を予定	
講師	林野庁職員（予定）	
開催日	令和8年7月上旬	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・森林経営管理法及び森林経営管理制度の目的と内容 ・意向調査から経営管理実施権配分計画策定までの流れ ・所有者不明森林の特例措置及び対応等について ・森林経営管理制度活用事例の紹介 	
教材	講師作成のテキスト	
備考	【G6】地域林政アドバイザー研修必須科目	

研修名	森林管理研修（②林業ICT技術（森林クラウドシステム基礎操作研修））	G 4②
お薦めポイント	森林クラウドシステムを触ったことのない方、新しく森林計画担当になった方、ぜひ受講してください。まずは基本操作を覚えましょう。	
背景と目的	愛知県では、林業におけるICT技術の普及を進めており、令和3年度末に森林のある全市町村の航空レーザデータの解析を終了しました。この解析データは、森林資源量の把握、林道・作業道の開設計画、境界確定のための基礎資料等に活用することができます。本研修では、森林クラウドシステムの基礎操作を学びます。	
到達目標	森林簿・森林計画図など森林情報の確認、路網計画のための地形の把握、森林境界の推定等に有利な森林クラウドシステムの基本操作方法を学ぶ。	
受講要件	市町村職員等	
定員	各15名（最少催行人数5名）	
開催場所	名古屋市内を予定→自治センター	
講師	アジア航測株式会社 職員	
開催日	令和8年5月19日（火）→5月26日（火）へ変更	
内容	航空レーザデータの解析データを用いた <ul style="list-style-type: none"> ・森林資源量の把握の方法 ・林道・作業道の開設計画の作成 ・境界確定のための基礎資料の収集 	
教材	講師作成のテキスト	
備考	パソコン操作あり	